

第2回

説明文・論説文 話題と要点

— 同訓異字 / 同音異字・同音異義語

例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

ねらい

- ・ 説明文・論説文の話題をとらえる。
- ・ 形式段落のこの要点をとらえる。
- ・ 同訓異字・同音異字・同音異義語の使い分けを覚える。

学習の要点

① 「話題」をとらえるためのポイント

「話題」をとらえるとは、その説明文や論説文が、「何について書かれているか」をとらえるということです。「話題」をとらえるときは、次の点に着目します。

「問いかけ」の表現

「くだらうか」「さでしょうか」など問いかけの形式で話題が提示されることが多いです。

くり返し出てくる言葉

文章中にくり返し出てくる言葉(キーワード・重要語)は、話題と関係します。

② 形式段落の要点をとらえるためのポイント

形式段落の構成は、次のような形をとることが多いです。

「具体例」を示す部分
「原因・理由」を示す部分
「補足・説明」を示す部分

これらの部分は、要点を説明するための部分で、「要点」に結びつく中心部分ではありません。

「だから・したがって」(順接)
「つまり・要するに」(言いかえ)
「このように・こうして」(指示語)

これらの表現に注目します。

「まとめ」を示す部分

「まとめ」を示す部分は、段落の初めや終わりの部分におかれることが多くあります。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 脊椎動物…体の中心に背骨を持つ動物。
 哺乳類…母の体内で育ってから生まれ、母乳で成長する動物。
 塩分濃度…塩分の濃さ。

浸透圧…薄い膜から、薄い液体が濃い液体の中に広がるときに生じる圧力。
 魚介類…魚類と貝類。 酸化…酸素と化合すること。
 炭水化物…砂糖やデンプンなど。
 代謝…体の中で物質が作られたり、こわされたりすること。
 排泄…体外に出すこと。

□定番問題 1・2 にあてはまる接続語を次の中から選び、

- それぞれ記号で答えなさい。(接続語)
 ア しかし イ そして
 ウ つまり エ それでは

□問一 この文章の話題となる問題を提示している一文をさがし、は

じめの五字を書きぬいて答えなさい。(話題)

1
2

□問二 ①段落の要点をまとめた次の文の□にあてはまる三字の

言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。(要点)
 海には、□がとぼしい。

□問三 線①「クジラは海水から水分を得ることができるとは

ないか」とありますが、この考えについて、筆者はどのように
 のべていますか。次の中から選び、記号で答えなさい。(要点)
 ア クジラの体内の浸透圧の作用で、海水の塩分濃度と体液の
 塩分濃度は変わらないので正しくない。

イ クジラには、海水を真水に変える体の働きがそなわってい
 ないので正しくない。

ウ クジラの体液は海水の塩分濃度よりも高く、そのまま飲む
 ことができるので正しくない。

エ クジラの体は、海という環境に適応して海水から水
 分を得ることができると正しい。

□問四 線②「生物の体の中にふくまれる水分を利用する」とあ

りますが、これができない理由を「食物の体液」という言葉を
 使って、二十字以内で答えなさい。(要点)

□問五 二か所ある□*に共通してあてはまる言葉を、文章中から

二字で書きぬいて答えなさい。

□問六 線③「このように」が指している内容は、どの段落から

始まっていますか。段落番号で答えなさい。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(竹内久美子「ウソばかり！ 人間と遺伝子の本当の話」より)

50

45

40

35

30

問一 この文章の話題となる問題を提示している一文をさがし、はじめの五字を書きぬいて答えなさい。(話題)

問二 1・2 にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(接続語)

- ア あるいは イ また
ウ でも エ たとえば

1
2

問三 線①「火事場の馬鹿力」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「火事場の馬鹿力」という表現についてまとめた次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から七字で書きぬいて答えなさい。

火事のとときや、緊急事態のとときなどに□が湧くこと。

(2) 「馬鹿力」とはどのような力ですか。次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 神経伝達物質が分泌されず、脳や神経系が超ハイな状態になって出る力。
イ 窮地に追い込まれたような緊急時に、自分の能力を大きく超えて出る力。
ウ いつもは敢えて抑制されていて、ここぞというときにだけ発揮される力。
エ 使うたびに肘を故障するなど、筋肉や骨を痛めてしまうという危険な力。

--

問四 線②「この研究」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「この研究」とはどのような研究ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から八字で書きぬいて答えなさい。(要点)

2011年に行われた□

□についての研究。

(2) 「この研究」の結果わかったことが書かれている一文を、文章中からさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。(要点)

問五 火事のとときに普段は考えられないような大きな力が発揮される理由について、筆者は、人が赤い色を見たときに、素早く大きな力を出すことができるという実験結果に注目しています。なぜ赤い色を見たときに大きな力を出せるのですか。文章中の言葉を使って、二十五字以内で答えなさい。(要点)

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50

45

40

35

30

(注) 卿：イギリスの貴族の位を持つ人を尊敬して呼ぶ言葉。サー。
 (島村英紀「地球がわかる50話」より)

放射性同位体：物質の構成単位の原子は、原子核と電子からできており、そして、原子核は陽子と中性子からできている。電子の数は陽子の数と同じだが、陽子の数が同じでも中性子の数がちがうものがあり、これを同位体という。この同位体の中で放射線を出すものを放射性同位体という。

問一

Aの部分には次のI～IVの文が入ります。正しい順序にならべかえたものを後から選び、記号で答えなさい。(話題)

I この「なにか」として、地球の温度を考えた学者がいました。
 II では、その「なにか」とはどんなものなのでしょう。

III これは、むしろ難しい質問でしょう。

IV 地球の誕生から現在まで、しだいに変わってきた「なにか」があれば、それを逆にたどれば、はじめの状態、つまり地球の年齢がわかることになります。

- ア I→II→IV→III イ I→III→IV→II
 ウ III→II→I→IV エ III→IV→II→I

問二

線①「こういった計算」が指している部分を文章中から五十字以内でさがし、はじめと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

問三

Bにあてはまる言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 変化 イ あいまいさ
 ウ 説得力 エ 正確さ

問四

線②「いずれにせよ」を具体的に言いかえたものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 地球の年齢が二〇〇〇万年であろうと四億年であろうと、どちらにしても

イ 地球の熱の伝わり方が正確にわかってもいなくても

ウ 地球の熱の逃げ方や受けとり方がどんな方法であろうとも

エ ケルビン卿の計算が正しかろうが、まちがっているようが、どちらにしても

問五

線③「地球の大きさとは大ちがいなのです」とありますが、地球の大きさと何の大きさを比べていますか。文章から二字で書きぬいて答えなさい。(要点)

問六

線④「ケルビン卿のせつかくの計算は大ハズレでした」とありますが、このような結果になった理由を「放射性同位体」という言葉を使って、三十字以内で答えなさい。(要点)

ア もちろん イ つまり ウ たとえば エ でも

1 2 3 4

問七

線④「ケルビン卿のせつかくの計算は大ハズレでした」とありますが、このような結果になった理由を「放射性同位体」という言葉を使って、三十字以内で答えなさい。(要点)

問八

Cにあてはまる言葉を文章の中から五字で書きぬいて答えなさい。

●同訓異字

同じ訓読みをする異なった漢字を「同訓異字」といいます。

① 子供をうむ…胎児や卵を母体から外へ出す。 ↓産む

② 新記録をうむ…新しく作り出す。 ↓生む

① 話をきく。…声や音を耳で感じて知る。 ↓聞く

② 薬がきく。…効き目がある。 ↓効く

●同音異字

同じ音読みをする異なった漢字を「同音異字」といいます。

例 エイ…営業

英語

栄光

永遠

カ…下位

追加

化学

花器

シ…仕事

使用

歴史

戦士

フ…付録

夫婦

豊富

不満

●同音異義語

同じ音読みをする熟語で、異なった意味を持つものを「同音異義語」といいます。

例 キュウヨウ

ゆつくりと休養をとる。
急用のため退席する。

カイホウ

仕事から解放される。
プールを市民に開放する。
病気が快方に向かう。

コウセイ

公正な意見をのべる。
作家として後世に名を残す。
文章の構成を組み立てる。

それぞれの漢字や言葉の意味・用法をしっかりと理解し、文脈に合うように正しく使い分けましょう。

□問一

次の(1)～(9)の各組の——線部を漢字に改めると、下の「ア」内のア・イのどちらの漢字になりますか。それぞれ記号で答えなさい。

(7)	(4)	(1)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
①	①	①	②	①	①	①	①	①	①	①	①
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
②	②	②	①	②	②	②	②	②	②	②	②
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
(8)	(5)	(2)	①	①	①	①	①	①	①	①	①
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
(9)	(6)	(3)	①	①	①	①	①	①	①	①	①
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②	②
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
治	友	付	追	初	泣	目	合	表	現	芽	鳴
イ	共	着	負	始	鳴	芽	会	現	鳴	芽	鳴
修	共	着	負	始	鳴	芽	会	現	鳴	芽	鳴

問二 次の各文の——線部を漢字に直しなさい。

(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
③ ② ①	③ ② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①
年があける。 席をあける。 戸をあける。	あつい本を読む。 あついお茶を入れる。 あつい部屋。	体力増進につとめる。 あつい部屋。	班長をつとめる。 犬小屋で犬をかう。 本屋で本をかう。	新入社員をとる。 机の上の本をとる。 ましがいをなます。	病気をなます。 ましがいをなます。 手本どおりにうつす。	席をうつす。 手本どおりにうつす。	朝はやく出かける。 はやく走る。	戦いにやぶれる。 ノートがやぶれる。	貯水タンクの水がへる。 五年の月日をへる。	郊外に家をたてる。 ろうそくを三本たてる。	木にのぼる。 船で川をのぼる。
① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □
② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □
③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □

問三 次の各文の——線部を漢字と送りがなで書きなさい。

(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
④ ③ ② ①	③ ② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	② ①	
貸していた本がかえる。 旅行先から家にかえる。 予定を急にかえる。	ピンチの場面で投手をかえる。 面積をはかる。 時間をはかる。	体重をはかる。 決め手をかく。 手紙をかく。	夜中に目をさます。 あついお茶を氷でさます。	人としての道をとく。 むずかしい問題をとく。 大型の客船をつくる。	父が料理をつくる。 祖父がながいねむりにつく。 国境のながいトンネル。	地球はまるい形だ。 紙をまるい形に切る。 小鳥を森へはなす。	理由をはなす。 はるか遠くをさす。 明るい色の傘をさす。	友達とわかれる。 道が二手にわかれる。	② ① □	② ① □	② ① □
① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	① □	
② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	② □	
③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	③ □	
④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	④ □	

問四

次の各文の——線部のカタカナと同じ漢字を使うものを、それぞれ後から選び、記号で答えなさい。

- (1) 安やすいな考え方をする。 **イ** 首くびを独走する。
ア 反対はんたいイ見けんをのべる。 **エ** 問題もんだいが容ゆるイいに解ける。
ウ 感情かんじんイ入いしやすい。 **イ** 勝かちインいんはチちームームワークワークがよよかつたことだ。
ア インいん象さう深い光景こうけいだ。 **エ** この場ばはインいん食禁じきん止とだ。
ウ 野球やきゅう選手せんしゅがインいん退たいする。 **イ** 運動場うんどうばの中なかオウおうに立つ。
ア 車くるまのオウおう来きが激げきしい。 **エ** 車くるまがオウおう転てんする。
ウ オウおう用問題ようもんだいを解とく。 **イ** 自分じぶんの限かぎカかイいに挑いどむ。
ア 相手の話はなしを理カりイいする。 **エ** 二カにイい建たての家いへ。
ウ 暗号あんごうをカかイい読よむ。 **イ** 遺伝いでんの研キけんユゆうをする。
ア キきユゆう急車きゅうしゆがサイさいレンれんを鳴ならす。 **エ** キきユゆう命めいボぼート。
ウ 賃上ちんあげを要ようキきユゆうする。 **イ** テてイい空飛くうひ行ぎやうをする。
ア 会議かいぎでテてイい案あんする。 **エ** 免許証めんきょしょうをテてイい示しする。
ウ バスばすのテてイい留所りゅうじょ。 **イ** フふクく装そうを整ととえる。
ア 結果けつがより過かテてイいが重要じゅうじょうだ。 **エ** フふクく大統領だいてうりやうに会あう。
ウ フふクく雑ざつな模様もようをえがく。 **イ** フふクく大統領だいてうりやうに会あう。

(5)	(1)
<input type="text"/>	<input type="text"/>
(6)	(2)
<input type="text"/>	<input type="text"/>
(7)	(3)
<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(4)
	<input type="text"/>

問五

次の各文の——線部を漢字に直しなさい。

- (II) (10) (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
- ③ ② ① ② ① ② ① ② ① ② ① ③ ② ① ② ① ② ① ② ① ② ①
- 民族カかイいホウほう運動うんどう。 犬いぬにキきセせいイいする虫むし。 無実ぶじつをシしョウしょうウうメイめいする。 知性ちせいとキきョウしょうヨウようのある人ひと。
- 病氣びやうきがカかイいホウほうに向むかう。 故郷こきやうにキきセせいイいする。 舞台ぶたいのシしョウしょうウうメイめい。 参加さんかをキきョウしょうヨウようされる。
- 校庭けうていをカかイいホウほうする。 通行つうぎやうがキきセせいイいされる。 雑誌ざっしをカかンかんコウこうする。 ホケン室ほけんしつで手当てあててをする。
- 民族カかイいホウほう運動うんどう。 犬いぬにキきセせいイいする虫むし。 無実ぶじつをシしョウしょうウうメイめいする。 生命せいめいホケンほけんに加入かじりする。
- 病氣びやうきがカかイいホウほうに向むかう。 故郷こきやうにキきセせいイいする。 舞台ぶたいのシしョウしょうウうメイめい。 カンコウ地かんこうちを訪おとずれる。
- 校庭けうていをカかイいホウほうする。 通行つうぎやうがキきセせいイいされる。 雑誌ざっしをカかンかんコウこうする。 生命せいめいホケンほけんに加入かじりする。
- 民族カかイいホウほう運動うんどう。 犬いぬにキきセせいイいする虫むし。 無実ぶじつをシしョウしょうウうメイめいする。 参加さんかをキきョウしょうヨウようされる。
- 病氣びやうきがカかイいホウほうに向むかう。 故郷こきやうにキきセせいイいする。 舞台ぶたいのシしョウしょうウうメイめい。 ホケン室ほけんしつで手当てあててをする。
- 校庭けうていをカかイいホウほうする。 通行つうぎやうがキきセせいイいされる。 雑誌ざっしをカかンかんコウこうする。 生命せいめいホケンほけんに加入かじりする。

③	①	①	①	①	①	③	①	①	①	①
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	②	②	②	②	②		②	②	②	②
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

★ 実戦問題

□問一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ぼくは今年の夏休みに、父に連れられて、始めて富士山に上った。ぼくたちは車で新五合目という場所まで行き、朝日を見るために真夜中から歩き始めた。深夜なのに人が多いのはイガイだった。真つ暗な道を懐中電灯の明かりだけを頼りに歩き続ける。サイシンの注意が必要だ。ぼくたちだけではなく、ほかの人たちもひたすら頂上を目指していた。しばらくすると、足がいたくなって、ぼくは思わず鳴きたくなった。有無を言わず、ぼくを富士山に連れてきた父のことを、うらめしく思った。

けれども、そんな思いも朝日がのぼったときの雄大な光景を目にしたことで、一気に消え去った。ぼくは胸が暑くなり、富士山に連れてきてくれた父に感謝した。

(1) この文章中に同訓異字のあやまりが四つあります。それぞれ漢字一字でぬき出して正しく書き直しなさい。

↓
↓
↓
↓

(2) 線①「深」、②「景」、③「謝」と同じ漢字を使うものを、それぞれ後から選び、記号で答えなさい。

③	②	①	
ウ	ア	ウ	ア
シ	古	シ	シ
ャ	い	ン	ン
罪	校	体	体
す	シ	検	検
	ャ	査	査
エ	イ	エ	イ
卒	銀	行	シ
業	行	シ	ン
シ	の	ン	曲
ャ	シ	自	動
真	ャ	動	車
	宅	車	
	宅		

(3) 線 a・b を漢字に直して書きなさい。

a

b

□問二 次の各文の線部を漢字に直しなさい。必要な場合は送り

がなも書くこと。

- 花粉症アによくイく漢方薬についての説明イをイきく。
- かんれいな地方でかんれいイになってイいる行事には、雪に関わりがあるものもある。
- 新条例アがこうイふされたのと同じ日に、兄は自動車の運転免許証イのこうイふを受けた。
- 明日の予定を手帳に書きとめていたが、ふいに名前をよばれて手をとめた。
- 陸上アきょうぎ会の種目について、実行委員会でイきょうぎする。
- 絵画コンクールのかイだい作品の出来ばえに、つイい、かイだいな期待をいイだいてしまイう。

(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ア	ア	ア	ア	ア	ア
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
イ	イ	イ	イ	イ	イ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>